



デジタル複数同時通話無線機

取扱説明書

BRIDGECOM X10

ブリッジコム エクステン

BM-X10



安全のための注意事項

警告

火災や人身事故を防止するため、本製品の注意事項を必ずお守りください。万が一、異音・異臭が発生した場合や、煙が出た場合は、直ちに以下の対応を行ってください。

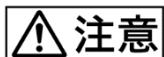
1. 直ちに電源を切る
2. 火気から遠ざける
3. 販売店またはお問い合わせ先へ連絡する

※お問い合わせ先は本書の最後に記載しています。

危険

- ・ 万が一、電池の液漏れが発生した場合は、以下の点にご注意ください。
- ・ 直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂するおそれがあります。
- ・ 液が目に入った場合は、こすらず、直ちに清潔な水で十分に洗い流し、医師の診察を受けてください。

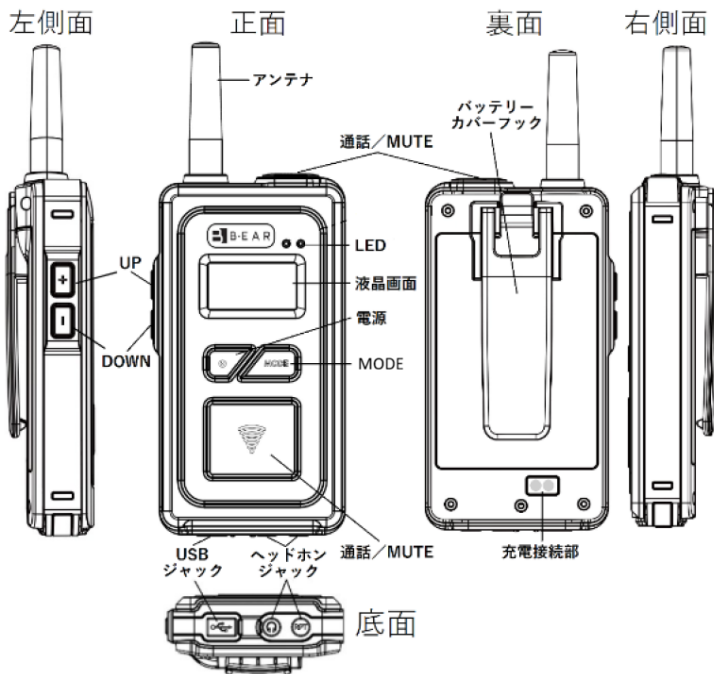
- ・ 液が口に入った場合は、直ちに口をすすぎ、医師の診察を受けてください。
- ・ 液が皮膚や衣服に付着した場合は、水で十分に洗い流してください。



必ずお守りください。

- ・ 高温または低温の場所に、長時間放置しないでください。
- ・ 本製品は、端子のゴム栓をしっかりと閉めた状態で、防水性能（IP67）に対応しています。
- ・ 端子のゴム栓は、配線接続時以外は必ず閉めてください。
- ・ ゴム栓がしっかりと閉まっていない状態で水や液体が端子部から侵入した場合、故障の原因となります。

本体構造



付属品

- ・ 取扱説明書（本書）
- ・ 標準アンテナ

各種設定・使用における注意事項

1. 通信中にマスター設定された本機を操作すると、設定操作中は同一グループ内のすべての機器との通信が切断され、通話できなくなります。通信中の設定操作はお控えください。
また、マスター以外の本機についても、通信中に設定操作を行うと、他機との通信が切断され、同一グループ内の機器と一時的に通話できなくなります。
2. 本機同士は、十分に距離を取ってご使用ください。近づき過ぎると電波が干渉し、音声がプツプツと途切れる症状が出る場合があります。
3. バッテリーカバーおよびジャックのゴム栓がすべて確実に閉まった状態でのみ、防水性能 IP67 に適合します。
閉まっていない状態で内部に液体・粉塵等が混入し、損傷が発生した場合は保証対象外となります。
4. アンテナは、奥までしっかりとねじ込んでください。正しく装着されていない場合、正常に通話できません。
※P6 図 1 参照
5. ヘッドホンマイクジャックの挿し込みが固いため、奥までカチッと音がするまで、しっかりと挿し込んでください。

※一部のヘッドホンマイクには凹マークがあり、その場合は凹マークが本機底面側になる向きが正しい向きの目安です。

※P8 図 3 参照

使用の前に

通信モードについて

本機には、2種類の通信モードがあります。

それぞれのモードには特長がありますので、使用現場や状況に合わせて、モードを使い分けて設定してください。

※同じグループ内で、2つの通信モードを混在させて同時に使用することはできません。

RM モード：中継接続モード（出荷時の初期設定）

マスターID00からの電波を、サブマスターID01が中継する通信設定です。

建物や壁、フロア違いなど、通話者間に障害物がある入り組んだ現場に適しています。

同時通話は、最大10台まで可能です。

S9 モード：スプレッドモード

マスターID00 をグループの中央付近に配置することで、ワイドかつ安定した接続が可能な通信設定です。

障害物の少ない開けた場所での使用に適しています。

RM モードに比べて、マスターID00 と子機 ID01～ID09 間の通信距離が、およそ 1.5 倍に伸びます。

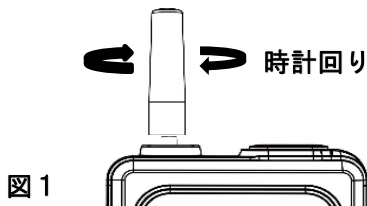
同時通話は、最大 9 台まで可能です。

※詳しい設定方法は、「5. 通信モード切替」を参照してください。

使用方法

1. アンテナ取付

アンテナを図 1 のように取り付けてください。

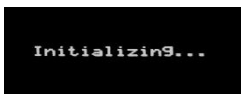


2. 電源オン／オフ

オン：電源ボタンを数秒間長押しし、液晶画面に図 2 が表示されたら、電源ボタンから指を離してください。

起動中は、LED（青色）が点滅します。

図 2



オフ：電源ボタンを数秒間長押ししてください。

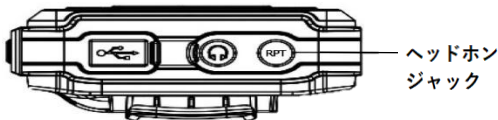
液晶画面に「Power Off!!!」と表示され、電源がオフになります。

※電源オン状態で、20 秒以上ボタン操作を行わないと、パワーセーブ機能により液晶画面が消灯します。

いずれかのボタンを押すと、再び液晶画面が点灯し、設定操作が可能になります。

3. ヘッドホンマイク接続

ヘッドホンジャックに、ヘッドホンマイクのプラグを、図 3 のようにケーブルが本体の外側に来る向きで接続してください。



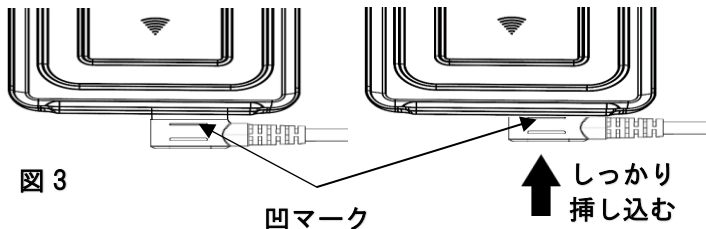


図 3

凹マーク

↑ しっかり
挿し込む

※ジャックは防水性能を高めるため固くなっています。途中で止めず、奥までカチッと音がするまで、しっかりと挿し込んでください。

※一部のヘッドホンマイクには凹マークがあり、その場合は、凹マークが本機底面側になる向きが正しい向きの目安です。

4. 音量設定

UP/DOWN ボタンを押して、音量を調整してください。

音量は 8 段階で設定できます。



図 4

音量 0

音量 8

5. 通信モード切替

本機では、2種類の通信モードを本体操作で切り替えることができます。

通信モード切替手順



1. 電源を入れ、上部通話/MUTE ボタンを押しながら、MODE ボタンを長押ししてください。図5が表示されます。

図5



2. 表示部に「RM」または「S9」が点滅します。
UP または DOWN ボタンを押して、通信モードを選択してください。
3. MODE ボタンを長押しし、電源がオフになれば設定完了です。
4. 再度電源を入れると、設定した通信モードが表示されます。



RM モードを選択した場合



S9 モードを選択した場合

RM モードについて

RM モードでは、ID09 および ID10 を設定した本機を複数台使用することができます。

ただし、複数の ID09 のうち同時に通話(TALK)できるのは、TALK 表示された 1 台のみです。ID10 は傍聴専用となります。
※同時通話は、最大 10 台まで可能です。

S9 モードについて

S9 モードでは、ID08 および ID09 を設定した本機を複数台使用することができます。

ただし、複数の ID08 のうち同時に通話 (TALK) できるのは、TALK 表示された 1 台のみです。ID09 は傍聴専用となります。
※同時通話は、最大 9 台まで可能です。

6. グループ設定 (最大 40 グループ)

MODE ボタンを数秒間長押しすると、液晶画面に図 6 が表示され、GROUP 番号が点滅します。

UP/DOWN ボタンを押して、00～39 の中からグループ番号を選択してください。

設定後、再度 MODE ボタンを長押しすると、設定が確定し、最初の画面に戻ります。

※同時に使用する本機のグループ番号は、同じ番号に合わせてください。

図 6



7. ID 設定（通話番号の割り当て）

1. MODE ボタンを数秒間長押しし、GROUP 番号が点滅した状態で、再度 MODE ボタンを 1 回押してください。
2. 液晶画面に図 7 が表示され、ID 番号が点滅します。
3. UP/DOWN ボタンを押して、以下の範囲から ID 番号を選択してください。

RM モードの場合：ID00～ID10

S9 モードの場合：ID00～ID09

4. 設定後、再度 MODE ボタンを長押しすると、設定が確定し、最初の画面に戻ります。

図 7



■ ID 番号の役割について

1. ID00（マスター）

グループの基点となる本機です。

同一グループ内のすべての本機は、ID00 を基点として接続されます。

2. ID01（サブマスター：RM モードのみ）

RM モードでは、ID01 がサブマスターとなり、マスター（ID00）の電波を中継します。

3. 子機

- RM モード：ID02～ID10

- S9 モード：ID01～ID09

■ 電波受信表示について（RM モード）

RM モードでは、ID02～ID10 の本機が、

- ・ マスター（ID00）の電波を受信している場合は「MA」
- ・ サブマスター（ID01）の電波を受信している場合は「SA」

が、アンテナマーク横に表示されます。

本機は、受信状態の良い電波を自動で選択します。

※表示例は図 8 を参照してください。

※「11.ローミング選択」で変更可能です。

図 8



RM モードの場合、ID 設定後、図 9～11 がそれぞれ表示されます。

上部に MM と表示

図 9



ID00 マスター

上部に SM と表示



ID01 サブマスター

上部に FD と表示

図 10



ID02

～



ID08

上部に PD と表示

図 11



ID09

上部に RD と表示



ID10

■ 注意事項（重要）

- ※ 1 グループにつき、必ず 1 台は ID00（マスター）を設定してください。ID00 が設定されていない場合、同一グループ内で通話できません。
- ※ ID は、
RM モード：ID00～ID08
S9 モード：ID00～ID07
については、それぞれ 1 台ずつ設定してください。
同一グループ内で ID が重複すると、正常に通話できません（RM モードの ID09・ID10、S9 モード ID08・ID09 を除く）。
- ※ ID 番号は、連番で設定する必要はありません。
- ※ RM モードの ID09、S9 モードの ID08 は、同時に通話（TALK）が可能なのは 1 台のみとなります。

8. サイドトーン設定（自分の音声のオン／オフ）

サイドトーンとは、通話中に自分の声をイヤホンから聞く機能です。

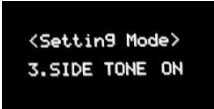
MODE ボタンを数秒間長押しし、GROUP 番号が点滅した状態で、再度 MODE ボタンを 2 回押してください。

液晶画面に図 12 が表示され、「SIDE TONE」の「ON」が点滅します。

UP/DOWN ボタンを押して、「ON」または「OFF」を選択してください。

設定後、再度 MODE ボタンを長押しすると、設定が確定し、最初の画面に戻ります。

図 12



<Setting Mode>
3.SIDE TONE ON

9. マイク感度設定(通話相手への聞こえ方の調整)

MODE ボタンを数秒間長押しし、GROUP 番号が点滅した状態で、再度 MODE ボタンを 3 回押してください。

液晶画面に図 13 が表示され、「MIC GAIN」の番号が点滅します。UP/DOWN ボタンを押して、1~8 の範囲でマイク感度を選択してください。

設定後、再度 MODE ボタンを長押しすると、設定が確定し、最初の画面に戻ります。

※マイク感度を高くすると、口元からマイクが多少離れていても

音声を拾いやすくなりますが、感度が高すぎると音割れが発生することがあります。

使用環境や装着状態に合わせて調整してください。

図 13



10. セキュリティコード設定（傍受防止機能）

MODE ボタンを数秒間長押しし、GROUP 番号が点滅した状態で、再度 MODE ボタンを 4 回押してください。

液晶画面に図 14 が表示され、「SEC CODE」の番号が点滅します。

UP/DOWN ボタンを押して、4 桁のセキュリティコードを設定してください。

セキュリティコードは、0～9、A～F の 16 進英数字から選択できます。

設定後、再度 MODE ボタンを長押しすると、設定が確定し、最初の画面に戻ります。

※ 同じグループ内で使用する本機は、セキュリティコードを同一の英数字に設定してください。

※ 初期設定は「0000」です。

図 14

<Setting Mode>
5. SEC CODE 0000

11. ローミング選択 (RM 設定での受信選択)

本設定は、RM モードに設定されている本機のみ有効です。

MODE ボタンを数秒間長押しし、GROUP 番号が点滅した状態で、再度 MODE ボタンを 8 回押ししてください。

液晶画面に図 15 が表示され、「ROAMING」の「AUTO」が点滅します。

図 15

<Setting Mode>
6. ROAMING AUTO

UP/DOWN ボタンを押して、以下のローミングタイプ一覧から選択してください。

AUTO	子機設定された本機がマスターとサブマスターの最適な電波を自動受信
MANUAL	子機設定された本機がMODEを押す度に、マスターとサブマスターの電波を手動切替で受信
MASTER	子機設定された本機がマスターの電波のみを受信
SUBMASTER	子機設定された本機がサブマスターの電波のみを受信

設定後、MODE ボタンを長押しすると設定が確定し、最初の画面に戻ります。

※S9 モードでは、ローミング選択はできません。

※マスターおよびサブマスターに設定された本機には、本設定は適用されません。

■ 画面表示

[AUTO 設定中]



[MANUAL 設定中]



[MASTER 設定中]



[SUBMASTER 設定中]



12. 通話方法（TALK オン／オフ）

本機の電源を入れ、ヘッドホンマイクのプラグをヘッドホンジャックに接続し、グループおよび ID の設定が完了すると通話が可能になります。 ※P8 図 3 参照

■ 通話方法（基本操作）

RM モード：ID00～ID08

S9 モード：ID00～ID07

本機の通話／MUTE ボタンを長押しすると、液晶画面の「TALK」表示が消え、TALK オフ（傍聴のみ）になります。

再度、通話／MUTE ボタンを長押しすると、「TALK」が表示され、TALK オン（通話可能）になります。

※通話ボタン付きマイクをご使用の場合は、マイクの通話ボタンを長押しすることで、TALK オン／オフを切り替えます。

図 16



傍聴のみ



通話可能

■ 制限付き通話 ID について

RM モード：ID09

S9 モード：ID08

上記 ID を設定した本機は、複数台接続することができます。

ただし、同時に通話できるのは 1 台のみとなります。

通話を行うには、本機上部の通話/MUTE ボタンを押しながら話してください。

ディスプレイに「TALK」と表示された本機のみが通話可能となり、その他の本機は傍聴モードとなります。

通話中の本機が通話/MUTE ボタンを離すと、「TALK」状態が解除され、新たに本機上部の通話/MUTE ボタンを押した本機が通話を開始することができます。

※RM モードの ID09 では、本体下部にある「通話/MUTE」ボタンは使用しません。

※通話ボタン付きマイクをご使用の場合は、押しながらの使用となります。

RM モード : ID10

S9 モード : ID09

上記 ID を設定した本機は、複数台接続することができますが、傍聴専用となり、通話を行うことはできません。

13. 通話音

本機は、以下の通知音で動作状態をお知らせします。

「ププ」

- ・ TALK をオンにしたとき
- ・ 通話距離範囲内に戻ったとき

「プププ」

- ・ TALK をオフにしたとき
- ・ 通話距離範囲外に出たとき

14. リセット（初期化）

電源オンの状態で、電源ボタンと UP/DOWN ボタンを同時に数秒間長押ししてください。

電源がオフになると、リセット（初期化）が完了します。

※すべての設定が初期状態に戻ります。

※通信モードは、RM モード（出荷時設定）に戻ります。

15. バッテリー残量

液晶画面の右上に、バッテリー残量が表示されます。

連続通話時間の目安は、満充電の状態から約 12 時間です。



80%以上



80~50%



50~20%

図 17



20~1%



1%以下

※バッテリー残量が1%以下（残り約7分）になると、
数分おきに「プププ」というアラーム音が鳴ります。

16. 充電

充電は、以下のいずれかの方法で行うことができます。

- ・専用充電器（品番：BM-X10cg）に、本機を直接挿し込んで充電する
 - ・バッテリーカバーフックの先端部を少し手前に引きながら外し、充電池を取り出して、専用充電器に挿し込んで充電する
 - ・USB ジャックに USB 充電ケーブルを直接接続して充電する
- 充電中は、充電 LED が赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

バッテリーを使い切った状態から満充電までの充電時間の目安は、約 5～6 時間です。

※充電ツールは別売品です。

17. 誤作動防止設定（キーロック）

MODE ボタンと通話/MUTE ボタンを、同時に約 3 秒間長押ししてください。

液晶画面に「LOCK」（図 18）が表示されると、キーロックが有効になります。

キーロック中に使用できるボタンは、電源ボタンおよびボタン付き専用マイクの通話ボタンのみです。



■ 誤作動防止設定の解除

MODE ボタンと通話/MUTE ボタンを、再度同時に約 3 秒間長押ししてください。

液晶画面の「LOCK」表示が消えると、キーロックが解除されます。



仕様

周波数	ISM 2.407~2.476GHz
電波形式	GFSK - FHSS
定格出力	10mW
受信感度	- 95dBm
音声CODEC	16bit/8KHz
チャンネル数	40チャンネル
動作時間	およそ12時間
電池容量	2000mA/DC3.7V 充電式リチウムイオン電池
サイズ	H123 x W67 x D31mm ※1
重量	180g ※2
防水性能	IP67 ※3
動作温度範囲	- 10 ~ + 60°C
認証	工事設計認証005-102376、FCC、CE、RoHS

※1. サイズは最大値。アンテナ含まず

※2. バッテリー装着時

※3. バッテリーカバー、ジャックのゴム栓かプラグが、しっかりと閉まった状態にて

2026年1月更新

保証とアフターサービスについて

保証期間は、お買い上げ日から1年間（本体のみ）です。

修理をご依頼の際は、お買い上げの販売店へご相談ください。

品名：ブリッジコム X10
品番：BM-X10

株式会社ベアリッジ

お問い合わせサイト：<http://bearidge.com/>

電話：0569-89-7969

